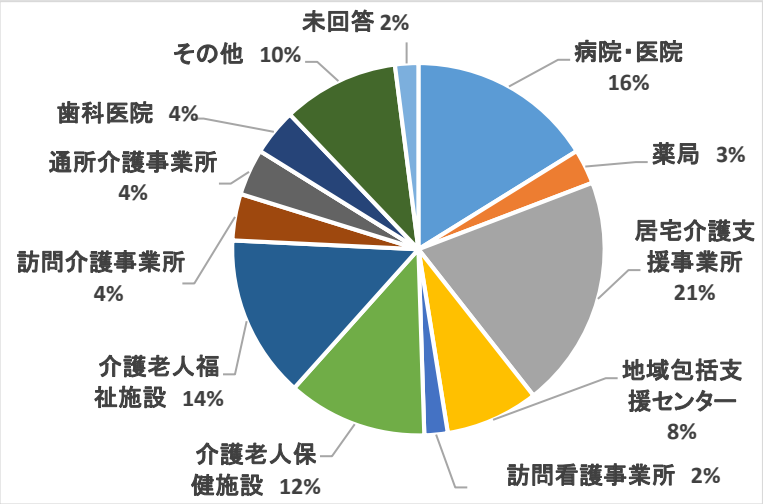
平成28年度　第4回　ほたる多職種研修会

平成29年2月28日（火）　18:30～20:30

テーマ「認知症とBPSD」～その対応と実践に役立つ知識・情報～
参加者：109名　　アンケート協力者：99名　　回収率：91%

所属

病院・医院	16
薬局	3
居宅介護支援事業所	20
地域包括支援センター	8
訪問看護事業所	2
介護老人保健施設	12
介護老人福祉施設	14
訪問介護事業所	4
通所介護事業所	4
介護保健施設	0
歯科医院	4
その他	10
未回答	2
合計	99

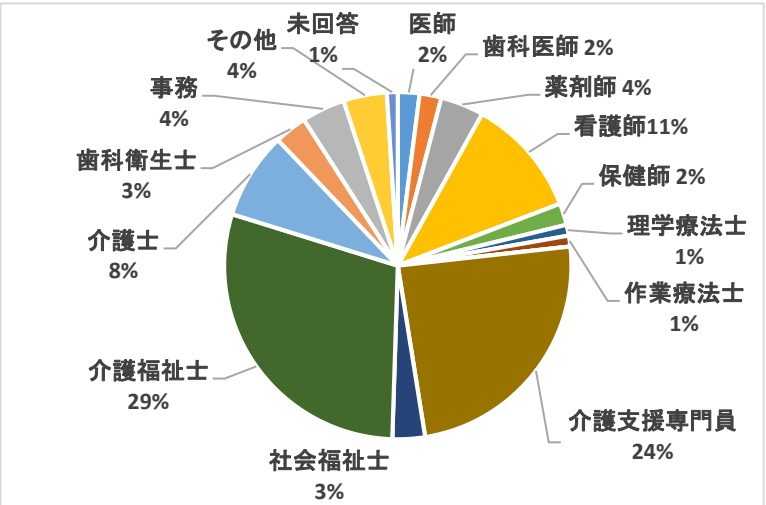


その他

・小規模多機能型居宅介護事業所　・グループホーム×２　・市役所　・医薬品卸
・認知症対応型共同生活介護事業所　・福祉事務所　・保健所

職種

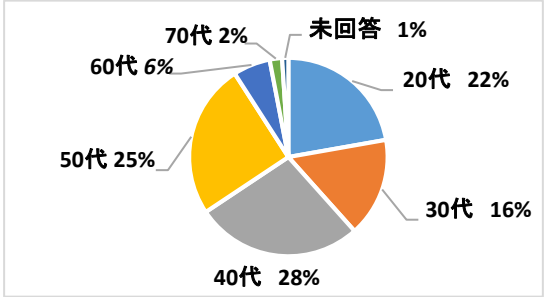
医師	2
歯科医師	2
薬剤師	4
看護師	11
助産師	0
保健師	2
理学療法士	1
作業療法士	1
言語聴覚士	0
介護支援専門員	24
社会福祉士	3
介護福祉士	29
介護士	8
歯科衛生士	3
事務	4
その他	4
未回答	1
合計	99



その他　・ヘルパー

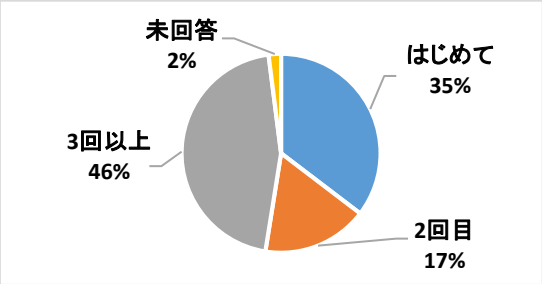
年代

20代	22
30代	16
40代	27
50代	25
60代	6
70代	2
未回答	1
合計	99



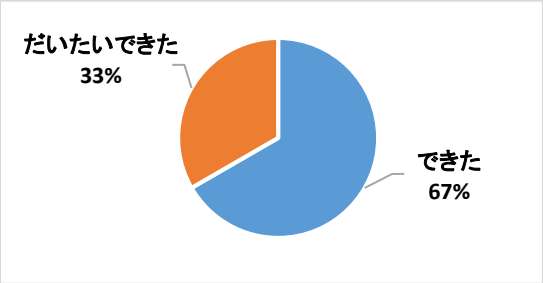
ほたる多職種研修会への参加回数

はじめて	35
2回目	17
3回以上	45
未回答	2
合計	99



Ⅰ. 研修会の内容は理解できましたか。

できた	66
だいたいできた	33
あまりできなかった	0
できなかった	0
合計	99

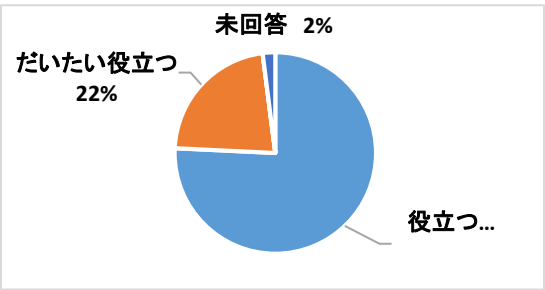


その理由

- 具体的で、資料も説明もわかりやすかった。
- 認知症の方の視点での話がとてもわかりやすく、現場の様子が思い浮かんだ。
- BPSDについて中核症状との違いを踏まえてわかりやすく説明していただけた。
- 普段対面するような事例についても多く取り上げられており、今後の参考になった。
- 認知症について振り返ることができ、改めて再認識できた。
- 個々の患者様へのオーダーメイドの対応が必要だと感じた。
- ケア側がBPSDを作り出さないようなケアが重要であると感じた。
  認知症の人の心を支えるために様々なサポートをしていかなければならないと感じた。

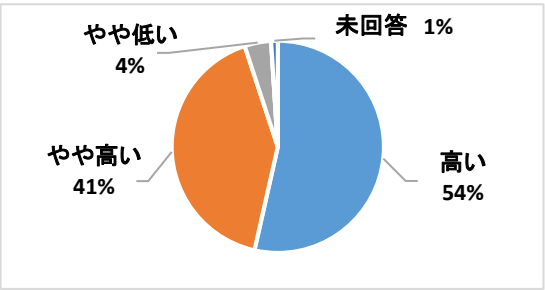
Ⅱ. 研修会で学んだことは実践の中で役立ちますか。

役立つ	75
だいたい役立つ	22
あまり役立たない	0
役立たない	0
未回答	2
合計	99



Ⅲ. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	53
やや高い	41
やや低い	4
低い	0
未回答	1
合計	99

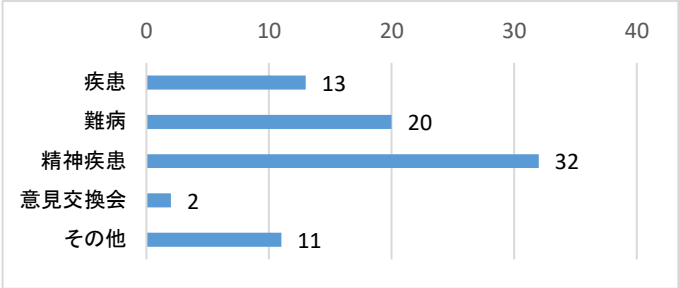


その理由

- わかりやすく理解を深められた。
- 具体的な説明で、ことばも理解しやすかった。
- 認知症の人の理解ができた。接し方もわかりやすく気持ちの良いお話でした。
- 認知症について振り返ることができた。参加型で楽しかった。
- 自分の仕事を見直すことができた。初心に戻ったような気がした。
- 日々の仕事で大変役に立つ情報を得られた。
- 今後の業務に活かせると思った。
- すぐにケアに取り入れていけると思うので実践していきたい。
- 事例をもとにBPSDの具体的な内容を聞け、どのように関わりを持てばよいのかがわかった。
- BPSDの原因を探り、向き合っていきたいと感じました。

Ⅳ. 今後取り上げてほしいテーマについて。（複数回答可）

疾患	13
難病	20
精神疾患	32
意見交換会	2
その他	11



各項目の内容として

◆疾患
- ・がん×２
- ・糖尿病
- ・肺炎
- ・心臓や肺疾患
- ・呼吸器
- ・高次脳
- ・クローン病
- ・嚥下困難
- ・潰瘍性大腸炎
- ・アルツハイマー

◆難病
- ・パーキンソン病×１０
- ・ALS×３
- ・多発性硬化症
- ・小脳変性症
- ・脊髄小脳変性症
- ・エンゼルケア

◆意見交換会
- ・障害者支援センター関係

◆精神疾患
- ・統合失調症×６
- ・うつ病×４
- ・パーソナリティ障害×２
- ・認知症
- ・アルツハイマー型認知症
- ・PDD
- ・気分障害
- ・知的障がい
- ・高齢者の不安
- ・末期がんの終末期
- ・精神疾患と環境や性格が混合している
- ・統合失調症とその人の性格に由来する状態の見極め方について

◆その他
- ・薬の情報、服薬支援について
- ・BPSDの症状のとり方のシンポジウム
- ・機能低下の原因となっている関節疾患とリハビリについて
- ・施設での家族支援について
- ・看取りにおける訪問看護、訪問リハビリの役割について
- ・ユマニチュードについてしっかり学びたい。
- ・バリデーションケアについて分かりやすく実践例を含めて教わりたい。
- ・感染対策について（インフルやノロ等を防ぐ・拡げない方法など）
- ・自殺予防、うつ病の人の社会復帰に関して
- ・急性期、回復期、維持期との情報伝達はきちんと図られているのか、症例を挙げて見てみたい。

Ⅴ. その他、研修内容に関する意見や感想

- ・わかりやすくとてもためになりました。ありがとうございました。
- ・今後現場で視点を変えて介助を行っていく為のとても良い機会になりました。
- ・人を理解するという思いを忘れずにいきたいと思います。ありがとうございました。
- ・すごく難しい研修なのかと思っていましたが、とてもわかりやすく、すぐに現場で実践できる内容でした。他の職員にも伝えていきたいです。
- ・BPSDに対してどのように関わっていけば良いかを学ぶことができた。病院と違い関わりの時間が短い在宅では、その人の生活を理解・把握することが困難なため、ご家族からの情報収集がとても大切であることを改めて感じた。
- ・BPSDの症状をどう和らげていくか、その方の想いに寄り添いながら基本的な関わりを大事にしたいと思いました。
- ・直接ケアに関わることは少ないですが、とても参考になりました。思いやりと想像力とコミュニケーション力が認知症ケアには大切だと感じました。ありがとうございました。
- ・認知症の方が何も分からないのではないと知り、優しく接しなければいけないと感じました。
- ・わかりやすく、実践につなげていきたいと思いました。特に認知症の方のBPSDに介護者が焦り、混乱・イライラすることでそれが本人に伝わってしまうということに納得しました。これからは穏やかに接することで認知症の方の不安感を軽減できればと思いました。
- ・認知症の治療として自分たち介護士にもできることがあるとわかり、もっと真剣に向き合っていくべきだと考えさせられた。今度、対応について実践していきたい。
- ・認知症以外にも様々な疾患について勉強していきたいと感じた。
- ・今年度もスキルアップにつながる研修会を企画していただきありがとうございました。